

名誉市民・元鷹島町長 宮本正則さんのご冥福をお祈りいたします



主な公職歴

昭和46年5月～49年12月
鷹島村議会議員
昭和50年1月～50年10月
鷹島町議会議員
昭和50年11月～58年10月
鷹島町教育委員会教育長
昭和62年5月～平成17年12月
鷹島町長

主な表彰歴（一部抜粋）

平成7年9月
全国町村会表彰（自治功労）
平成8年3月
長崎県町村会長表彰（自治功労）
平成11年10月
全国町村会表彰（自治功労）
平成18年11月
勲4等旭日小綬章 受章
令和元年5月
本市名誉市民称号贈呈

本市名誉市民、宮本正則元鷹島町長が4月28日（木）に永眠されました。

宮本元町長は、鷹島町議会議員、鷹島町教育長などの要職を歴任され、昭和62年からは鷹島町長として、5期18年8カ月の長きにわたり、町勢の振興に努められました。

特に、国や関係機関に対する精力的な建設推進活動や、宮本元町長が手掛けられたモンゴル村を始めとする鷹島の観光振興施策が実を結び、鷹島肥前大橋の架橋が実現し、地域住民の暮らしや利便性は飛躍的に向上しました。

また、元寇にまつわる鷹島海底遺跡の発掘調査の必要性を説かれたことが契機となり、平成24年、鷹島神崎遺跡が海底遺跡として日本初の国史跡に指定されました。これは、本市の将来に繋がる多大な功績でもあり、宮本元町長の先見的な視野の広さを物語るものでもあります。

さらに農業の振興を図るための畑地帯総合整備事業を推進され、事業に不可欠であった水の確保のため、海中ダムを実現されるなど、本市の発展のため、誌面では掲載しきれないほど多大なご尽力をいただきました。

